



平成 27 年
(2015 年)
12 月 16 日
No. 48

わかばの丘

大塚台小学校

P T A

広報委員会

第13回 風の子フェスティバル、開催！

風の子フェスティバル、
始まりま〜す！！

スカリン、
今年もよろしくね！

恒例のティーチャーズダンス。今年も熱いぞ！！

11月7日(土)の秋晴れのあったかい日差しのなか、PTA 主催の風の子フェスティバルが開催されました。開場直前の昇降口には、期待と興奮に満ちあふれた子供たちでいっぱい。PTA の面々は、準備万端！手ぐすね引いて子供たちがやってくるのを待ちかまえています。スペシャルゲストの横須賀市のゆるキャラ『スカリン』が登場すると、盛り上がりは最高潮！池田風の子委員長のカウントダウンとともに、風の子フェスティバルがスタートしました。

今年度のゲームコーナーは、ミニゲームが4種類。全クリアすれば景品と交換。初お目見えのワークショップ『ミニガーデン』では、事前申し込みが殺到し、抽選となりました。『カチューシャ』『My カレンダー』『ふしぎの部屋』『手作りおもちゃ』『大塚台グッズ』等も、もちろん大盛況!!!たくさんの子供たちが楽しみました。

11時から飲食販売が開始され、お腹をすかせた子供たちで、どこのブースも長蛇の列。大人たちは子供たちの元気に負けてられません。パワー全開、頑張ります！たっぷりエネルギーチャージしたら、午後からはアリーナで、浦賀中学校吹奏楽部の演奏やダンスクラブの演技を堪能。最後に登場した『ティーチャーズダンス』では、先生たちの熱演に拍手喝采の嵐でした。

子供も大人も大満足で過ごした、秋の穏やかな一日となりました。

5月～

風の子委員会始動！
子供たちが楽しめるイベントを
話し合い、相談していきます。



各班の担当がイベントを
決めますが、時には委員
会の後も残り、班を超え
て相談もします。



7月ごろ

運営委員会に企画書を出し、
風の子フェスティバルで行っ
ても問題が無いかなを確認をし
ます。



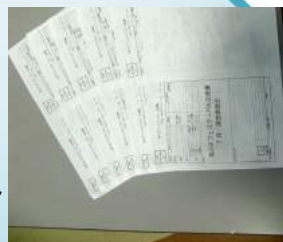
おもちゃの会の方との
打合せでは、作業時間
・問題点などを考慮し
作るおもちゃを決定します。



企画書は、イベントの
数を提出します。



そして事前に講習会を
行い、風の子委員と事
前サポーターが子供た
ちに教えられるように
します。



風の子フェスティバル

沢山の事前サポーターのご協力がありました。
ありがとうございました。

が



できるまで

前日 風の子委員、運営委員、事前サポーター、そして先生方、おやじの会も、児童下校後に準備をします。

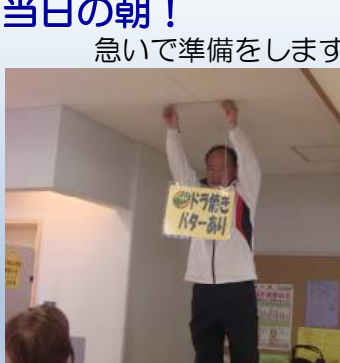


当日の朝！

急いで準備をします。



届いた商品の数などを、確認します。



おやじたちも朝早くから頑張ります。

いよいよ 当日



大盛況！長蛇の列です



おいしくな～れ!!



晴れてよかったね

飲食販売



この頼れる背中！

手作りおもちゃ



母たちも頑張ります



上手に作るコツはなあ

大塚台グッズ



何色にしよう♪

ゲーム



風子をさがそう

そろって！



私たちも楽しかったです！



ありがとうございました

小中一貫教育って何？

平成28年度から始まる小中一貫教育。ニュースや紙面等で一度は耳にしたことがあると思います。
でも詳しくはよくわからないことも！
そこで小中一貫教育について校長先生に聞いてみました。



小中一貫教育の形態は？

3つのパターンがあるとのこと。

- 1 校舎一体型 小学校と中学校の校舎が同じ
 - 2 校舎併設型 小学校と中学校が同じ敷地内に隣接
 - 3 ブロック制 中学校の学区内にある小学校と連携
- 大塚台小学校はこの中の「ブロック制」になり、浦賀小学校、高坂小学校と共に浦賀中学校との一貫教育になります。

小中一貫教育にする意味は？

子供の「学び」「人格形成」が、小学校⇔中学校でスムーズに行えるようにするためです。

というのも、中学生になると不登校が非常に多くなり（これが“中1の壁”“中1ギャップ”）、横須賀市では特に深刻なようです。このため、中学校で急に変わる勉強や環境にしっかりついていけるように、小・中学校で学習内容や生徒の指導方法の連携をとります。

小学生が中学校に通って授業を受けることも!?

移動時間を考えると難しいです。すでに行われていますが、中学校の先生が小学生の授業を行うことが時々あります。

中学生の学習を小学校で勉強することになる？

学習指導要領で各学年の学習内容は決められていますので、それはありません。成績の付け方も変わりません。それよりも、小学生のうちに小学校の学習をしっかり定着させることが大事です。

中学校は選べなくなるの？(学校選択制)

今のところ、選べなくなるとの決定はされていません。

中学校でも給食になるの？また小学生も制服に？

校舎一体型ではないため、現時点ではなりません。制服についても同様です。

校長先生との話では、児童や保護者には何かが大きく変わるようなことはないとのことでした。小中一貫教育とは、ブロック内の先生方が連携を密にし、学習の連続性や生活の指導などについて情報交換を多く行い、児童がスムーズに進学できるようにすることでした。

先生方の行き来が増えるため、中学校の先生が来られた時に、もしかしたら保護者の恩師に出会うこともあるかもしれませんね。

先生教えてください！子育ての疑問



広報委員会の集まりで、自然と話題にのぼる子育ての疑問。

そこで「わかば」を通して先生に答えをいただけないか・・・。

今回はとくに広報委員のなかで、ぜひ教えていただきたい4つの疑問を挙げ、先生にお聞きしたところ快く答えていただきました。お忙しいなか本当にありがとうございました。

4つの質問

- I 自主学習を自ら行うにはどうしたらよいか？
- II 子供に絶対かけてあげたい魔法の言葉！
- III 外になかなか遊びに行かない。外に遊びに行かせるには？
- IV 子供の「なぜ？」にはどこまで答えればいいのか？

『低学年』の先生からのアドバイス

I 子供は、自分の好きなことに対しては夢中になって取り組みます。学年にもよりますが、目や耳や手など諸感覚を使って、また、様々な体験活動を通して、「好きなこと」の世界を広げてあげることがまず大切だと思います。好きな世界が広がると、その好きなことについての情報を集めるとか、それに関わる本を読むとか、集めた情報を整理していくとか、やってみたいことがどんどん広がってくるのではないのでしょうか。すこしだけ親と一緒にあって、それを楽しんであげるのも子供はうれしいですね。自主学習は、学校の勉強をする、という内容だけでなく、生きることを楽しめる学習と広くとらえていくことも大事だと思います。

子供のありのままを受け止めてあげて、信じてあげて、「あなたなら大丈夫。できるよ。」と励ましてあげて、ほめてあげること。失敗もまた、次への成長の源だと受け止めてあげられる心の広さだと思います。子供は親に認めてほしいものです。

II

III 子供の個性を大事にしてあげてを考えると、本を読んだり、何かを作ったりすることが好きな子供なら、それもまたよし、だと思います。

ただテレビを見る、ゲームをするなど能動的な活動は、時間制限をするべきだろうと思います。時間を決めたら親は凜としてそれを守るべきです。そんなときの甘やかかしは禁物ですね。

IV

年齢と内容によります。親が子供としっかりと向き合い、その時々で親の責任として判断するのが一番いいのではと思います。



『中学年』の先生からのアドバイス

I

すべてを子供自身にやらせてもやらないので、

- ・スモールステップで少しずつ増やすように相談にのってあげる。
- ・自分で宣言させる（参考になるような選択メニューを与えてもよい。）

↓
できたらほめる（場合によってはごほうび）

やりたくなるような内容等を一緒に考えてあげたらどうでしょうか。



II

当たり前のことかもしれませんが、「ありがとう」「すごい」「素晴らしい！」など、あまり気張らずに、自然に出る言葉が心に響くと思います。

IV

コミュニケーションを求めているのであって本当の答えを求めているわけでもない場合もあるので、あきらめずにトコトン子供が飽きるまで何らかを“応えて”あげるとよいと思います。

＊聞く・話すことが基本となり、読解力がつくことに発展するということを信じて、本当に忙しいときは「あとでね」と言いつつも、必ず応じてあげることだと思います。

III

- ・一緒に外に出て、たとえ家の前であっても、共にキャッチボールなどをして遊んであげたらどうでしょう。
 - ・外にも魅力的な所や遊びがあることを紹介してみたらどうでしょう。
- ＊ただ家の中であそびたいと思う子を無理に出さなくてもいいのではないのでしょうか。

『高学年』の先生からのアドバイス

I

いつでも見てあげられる環境での学習へのとりくみは有効だと思います。もしおうちの方がわからなければ「先生に教えてもらえるよう、お母さん手紙かくよ」などコミュニケーションをとりながら、がんばる姿を応援してあげられることが何より大切だと思います。まずは取り組む姿勢を認めてあげることが有効だと考えます。

IV

こたえてあげることも大事かもしれませんが、一緒に考えたりして、深めてあげられる関係をぜひつくれるといいなと思います。

大丈夫だよ！失敗も大切な勉強だよ、まちがいを認めてあげられることって私はすごいしすてきだなと考えています。

III

まずは一緒に
おかいものや、外での遊び方など体験できるといいですね。

III

先生方からのお言葉に、あたたかい贈り物をいただいたような気持ちになりました。そんな大切なこちらの記事を皆様に届けさせていただきます。

子供の体力低下が深刻になっていることは、みなさんをご存知だと思います。

横須賀市では、数年前から教育委員会でも力を入れており、各学校でもさまざまな取り組みが行われています。そして少しずつですが体力は向上してきているようです。

けれども平成26年度の体力テストの結果、神奈川県は47都道府県中、**小5男子が46位、小5女子が47位**となり、まだまだ全国的には体力がない状況に変わりはありません。

そこで、家庭でできることはないか？ 私たち自身で行えることがあるのではないかと思います、先生方に取材しました!!

《あるクラスでの取り組み》

体育の授業やいろいろな場面で、クラスの子供たちの体力がないことに気付いた担任は、朝や休み時間に「ランニング」や「なわとび」などを推進していきました。そのため、日頃あまり運動しない子供たちも少しずつ体力がつき、マット運動やとびばこ運動だけでなく、ボール大会やチームジャンプでも良い成果を出すことができました!

取り組んだこと全部が結果に繋がるわけではありませんが、一人ひとりが体力を向上させることができました。

家庭で、

子供に体力をつけてもらいたいと思い、子供にだけに「外で遊びなさい!」、「体力をつけるために走ってきたら?」なんて言っていないか? 学校での取り組みを振り返ると、コツコツ地道に行うこと、仲間がいることが大切だとわかります。

そこで、ご家庭でも家族みんなで取り組んでみませんか? 目標は家族全員同じでも、それぞれ違っていいと思います。子供のためにこの冬休みから、お父さん、お母さんも一緒に体力アップを目指しましょう!!

きっとご自身のためにもなることでしょう。まずは左の表のように1カ月の目標を立ててみませんか? 寒い冬こそ体を動かして、健康で充実した日々をお過ごしください。そしてこれをきっかけに、運動を続けられる環境が整うと素晴らしいですね。

親子で 目指せ 体力アップ!!

おすすめの運動 『なわとび』。

少しのスペースがあれば、縄一本で手軽にできます。全身を使った有酸素運動のため、持久力が鍛えられ、下半身のむくみ解消や筋力アップ効果が期待されます。

(例) 名前	目 標	取 り 組 み
パパ (太郎)	マラソン 5 km 20 分以内	週に3回、 30 分間走る!
ママ (風子)	1 カ月で 体重 2 キロ減	毎日 なわとび 20 分
ぼく (風太郎)	次の試合に 勝って優勝	お母さんと一緒に なわとび 20 分
おひちゃん (風之介)	毎日、運動する	朝 9 時から ウォーキング 30 分

《役 員》

7月24日に大グラウンドにて

「**自転車講習会**」を開催しました。

今年も浦賀警察署、横須賀市役所の方に来て頂き、自転車に安全に乗るためのルールを学びました。暑さの厳しい一日でしたが、警察署や市役所の方からの「説明・デモンストレーション」を見聞きして、交通ルールの大切さを学びました。その後実際に自転車に乗って交通指導を受けました。

子供たちは真剣に取り組み、講習会後には、「楽しく学べた」「安全に乗りたい」等の感想を聞くことができました。

講習会後には色々なお土産もいただきました。



《校外委員会》

7月13日に

「**登校時交通指導連絡会**」が行われました。

各町内会と見守り隊の皆様、貴重なご意見を頂きました。いつも登下校を見守っていただいていることを感謝いたします。

連絡会の話し合いでは「登下校中に交通ルールが守られていない」や「なかなか挨拶が出来ない子供たちがいる」等の報告がありました。また、自転車の走行マナーや事故の危険性についても多くのご意見をいただきました。

今後も、子供たちが安全に元気よく登下校が出来るように、「学校・家庭・地域」と協力していきたいと思います。



《ベルマーク委員会》

6月11日にベルマーク運動説明会に

市の代表として、大塚台小学校の「**ベルマーク活動**」について体験発表を行いました。

横須賀市内の小中学校のベルマーク委員の前で、去年の活動内容やこれまでの獲得点数等を、スライドショーを使用して発表しました。一年間に70人弱の人数で委員会活動をしていると説明した際には、会場から大きな反応があり、改めて大塚台小学校は「児童数も多くPTA活動に参加する保護者の人数も多い学校だな」と再確認しました。

開校からベルマーク運動に参加してまだ十数年の委員会ですが、これからも「学校・家庭・地域」と協力して、ベルマーク活動を続けていきたいと思っています。

今後も「ベルマーク・テトラパック・インカートリッジ」の収集にご協力をお願いします。



《おやじの会》

7月27日、一年生児童対象におやじの会による「**手作りフーメラン**」のサマーセミナーが視聴覚室で開かれました。

フーメラン型を厚紙に書き写し、はさみで切り取り、カラーペンで色を塗りました。切り取りがなかなか上手にできないときは、おやじや先生のアドバイスを受けながら、何とか切り取ることができました。このようにしてカラフルで個性豊かなフーメランが完成しました！

ジリジリとした真夏の太陽の日差しの中、小グラウンドの芝生の上で、夢中になって自分で作ったフーメランを飛ばして遊びました。

初めて作りましたが、思った以上に飛んだので、大喜びでした。



《交流委員会》

親子工作教室

9月6日にアリーナで神奈川土建の職人さん指導による「親子工作教室」が開かれました。

当日は児童と保護者が協力して、双胴船・本立て・ミニ3段飾り・椅子は、のこぎりやトンカチ等の道具を使い組み立てました。

タイルアートはタイルを砕いて、いろいろな形や色のタイルを組み合わせせて作品を作り上げました。

普段使いの出来ない道具に四苦八苦しながら、立派に作品を完成させました。



3年生懇親会

10月1日に3年生の春の遠足先「猿島」へ、3年生保護者で行って来ました。

坂道や長いトンネルや階段がありましたが、初めての方ともお話ししながら散策したので、島を一周したときには、すっかり保護者同士の交流が深まっていました。

「猿島」は東京湾唯一の無人島。深い緑に包まれ自然にあふれ、長い歴史を刻んだ場所が私たちの身近にありました。

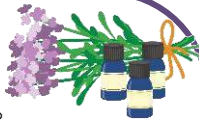


アロマヨガ教室

10月22日に視聴覚室にて「アロマヨガ教室」が開かれました。

講師の先生がブレンドしたアロマオイルの「ラベンダー」「レモン」の香りに包まれながらヨガを体験し、日常の喧騒を忘れ、心身ともにリラックスした優雅な時間を過ごしました。

体験後の教室には、アロマオイルのほのかな香りが漂っていました。



クリーン班

10月7日・11月4日に

「ボランティア清掃」を実施しました。

「1・2年の手洗い場・トイレ」をクリーンサポーターの皆さんが、作業時間いっぱい使って掃除をしました。終了間際になり「時間が足りない!」と言いながらも、ピカピカにすることができました。

清掃後には、初心者でも簡単に作れる方法で、「アクリルたわし」作りをしました。次回は、こちらを使って清掃する予定です。



〔次回実施日〕

1月20日
2月17日

1年生親子親睦会

10月30日にアリーナにて親子親睦会を行いました。

「色取り合戦」ゲームを親子で楽しみました。児童達是对戦後の結果発表のたびに一喜一憂。最後は「1年生全員対保護者全員」で対戦し、結果は1年児童の「圧勝!」。最高の盛り上がりの中、親睦会は終了しました。

秋の日差しが差し込む中、親子でキラキラ笑顔はじける楽しい時間を過ごしました。



給食試食会

10月30日に視聴覚室にて「学校給食の栄養や献立」について、栄養士の木村先生よりスライドを交えてお話を聞いたあと、ランチルームで給食を試食しました。今回の献立は「鮭の照り焼き・塩だれキャベツ・ごはん・味噌汁・牛乳」でした。配膳する時には盛り付けに悩み、そして高学年の一人前のご飯の量にも驚きました。

短い時間でしたが、みんなでテーブルを囲み会話を楽しみながら美味しくいただきました。



日本のお雑煮

～もういくつ寝るとお正月♪～と、お正月といえば、みなさんも知っているお雑煮。

お正月にお雑煮を食べるのは、神様にお供えたおもちを食べることによって、神様の力をもらい、元気に一年を過ごすためと言われています。

地方によって味や種類も様々なお雑煮をいくつか紹介します。

西日本
丸もち
みそ味



鳥取県

しるこ仕立て

おしるこの中に黒豆を入れる地域もあります。

長崎県

すまし汁仕立て

具材にブリが入るのが特徴です。

香川県

白みそ仕立て

おもちの中にはあんこが入っています。

北海道

味噌仕立て

具材には昆布が入り、いくらを上のにのせます。

岩手県

すまし汁仕立て

くるみダレに、雑煮の中のおもちをつけて食べます。

東日本
角もち
しょうゆ味



親子で確認

お友達の家におじゃまる時のマナーを親子で話し合ってみませんか？

- あいさつをする
- 靴をそろえる
- 後片付けをする
- 大人がいない時は家にあがらない



など、お互い気持ちよく遊べるようにしていきましょう。また親同士も学校などで会った際にはお礼を言うなど、コミュニケーションをとって、子供たちを見守ってあげたいですね。

おやじと風の子の交流会

1月16日(土)
AM 10:00～
お楽しみに！！



編集後記

今年度2号目のわかばの丘。大好評につきページ増量しました♪鬼のような編集長と口だけ達者な副編集長を筆頭に、親目線での記事を増やし読み応えはファッション誌並です(笑) 広報委員会、渾身の作。次号は3月！

